

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ							
教 科： 数学		科 目： 数学Ⅰ		単位数： 3 単位			
対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組							
教科担当者：（ A・B・C・D・E・F・G組：大倉 ）（ A・D・F・G組：田村 ）（ B・C組：平林 ）（ E組：駒井）							
使用教科書：（ 新編数学Ⅰ（数研出版） ）							
教科 数学		の目標：					
【知 識 及 び 技 能】		事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。					
【思考力、判断力、表現力等】		数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を的確に表現する力を養う。					
【学びに向かう力、人間性等】		数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度や評価・改善しようとする態度を養う。					
科目 数学Ⅰ		の目標：					
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
数と式、図形と計算、二次関数およびデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。		数学を活用して事象を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフに関連付けて考察する力を身に付けている。		数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度を養う。			
1 学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
	A 数と式 【知識及び技能】 ・数式に対していろいろな見方をすることができる。 ・式の展開と因数分解の相互の関係が分かる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・乗法公式や因数分解の公式などを目的に応じて処理することができる。 ・見通しを持って式を展開したり、因数分解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・式の展開や因数分解に関心をもち、目的に応じて式を変形しようとする。 ・複雑な式の展開やいろいろな因数分解では、置き換えや式の変形などを利用しようとする。	・指導事項： 1. 整式とその加法・減法 2. 整式の乗法 3. 因数分解 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考查 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	13
	定期考查			○	○		1
	B 実数 【知識及び技能】 ・数を実数まで拡張することの意義を理解している。・実数が直線上の点と1対1に対応していることを理解している。 ・絶対値の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・数を拡張してきた過程を考察することができる。 ・有理数を小数で表すことによって有理数の意味を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに、数を拡張していく過程に関心をもち、調べようとする。 ・分母に根号を含む式において、分母を有理化する方法に関心をもつ。	・指導事項： 1. 実数 2. 根号を含む式の計算 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考查 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	6
	C 1次不等式 【知識及び技能】 ・不等式の性質を基にして、1次不等式を解くことができる。 ・連立不等式の解を数直線上に表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 不等式の性質を基にして、1次不等式の解き方を考察することができる。 ・1次不等式の解について、数直線と対比したり、いろいろな数値を代入したりして考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数量の関係を不等式で表し、1次不等式を活用しようとする。 ・具体的な事象の考察に、1次不等式を活用しようとする。	・指導事項： 1. 不等号と不等式 2. 不等式の性質 3. 1次不等式 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考查 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	8
	定期考查			○	○		1
D 2次関数 【知識及び技能】	・指導事項： 1. 関数とグラフ	定期考查 小テスト					

2 学 期	・座標平面上で、$y = ax^2$ のグラフを平行移動していく過程を作業を通して理解し、グラフをかくことができる。 ・定義域が限られた2次関数における最大値・最小値は、頂点を考慮して求めることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・関数 $y = ax^2 + bx + c$ を $y = a(x - p)^2 + q$ の形に変形することができる。 ・2次関数のグラフの頂点の座標と軸の方程式を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・関数関係を変化する2つの量の関係としてとらえ、式やグラフに表すことに関心をもつ。	2. 2次関数のグラフ 3. 2次関数の最大・最小 4. 2次関数の決定 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	E 2次方程式と2次関数 【知識及び技能】 ・ $y = ax^2 + bx + c$ のグラフと x 軸との共有点の x 座標と2次方程式や2次不等式の解について考察できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係を理解し、2次不等式の解を2次関数のグラフを用いて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・2次関数のグラフと x 軸との位置関係について調べて、2次不等式の解のタイプに関心をもつ。	・指導事項： 1. 2次関数のグラフと2次方程式 2. 2次関数のグラフと2次不等式 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	11
	H 集合と論証 【知識及び技能】 ・集合の包含関係など、集合に関する基本的な事項を理解させ、具体的な事象について考察させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・集合の包含関係と関連付けて、必要条件、十分条件、必要十分条件、対偶、背理法などを学習することを通して、論理的な思考力を一層伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 ・命題の逆・裏・対偶の関係が条件を満たす集合の関係に対応していることに気付き、これらについて調べようとする。	・指導事項： 1. 集合 2. 命題と条件 3. 逆・裏・対偶 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など・指導事項	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み				12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	F 図形と計量 【知識及び技能】 ・三角比を用いた平面図形や空間図形の計量に関する知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・三角比や正弦定理・余弦定理などを用いて平面図形や空間図形を計量することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを調べようとする。・三角比を用いて三角形の面積や空間図形の計量に活用しようとする。	・指導事項： 1. 三角比 2. 三角比の性質 3. 三角比の拡張 4. 正弦定理 5. 余弦定理 6. 三角形の面積 7. 空間図形の計量 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	21
	G データの分析 【知識及び技能】 ・中学校で学習した平均値・最頻値・中央値・四分位数・箱ひげ図について復習し、データの散らばりのようすをとらえる概念として、整理し、理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・データの散らばりのようすをとらえる概念として、分散、標準偏差について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・データから適切な代表値を得て、散らばり具合を整理し全体の傾向をつかもうとする。	・指導事項： 1. 度数分布 2. 代表値 3. 四分位数と四分位範囲 4. 分散と標準偏差 5. データの相関 6. データの外れ値 7. 仮説検定の考え方 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	10

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・3次の乗法公式および因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解ができる。 ・パスカルの三角形および二項定理を理解し、それらを用いて計算することができる。	・指導事項： 1. 整式の乗法 2. 二項定理 3. 整式の除法 4. 分式 ・教材： 教科書、ワーク	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	11
	B 単元 【知識及び技能】 ・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができる。 ・剰余の定理や因数定理について理解し、高次方程式の解法などに因数定理を活用できる。	・指導事項： 5. 複素数 6. 2次方程式 ・教材： 教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	C単元 【知識及び技能】 ・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができる。 ・2次方程式を複素数の範囲で考えることができる。	・指導事項： 7. 因数定理 8. 高次方程式 ・教材： 教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】 ・等式、不等式の基本性質や基本的な証明方法を理解している。 ・平方の大小関係について理解して証明に用いることができる。 ・相加平均と相乗平均の大小関係を理解して証明に用いることがで	・指導事項： 9. 等式の証明 10. 不等式の証明 ・教材： 教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・平面上の2点間の距離や内分点と外分点の座標を求めることができる。 ・方程式で表された直線を図示することができる。	・指導事項 1. 直線上の点 2. 平面上の点 3. 直線の方程式 4. 円の方程式 5. 円と直線 6. 軌跡と方程式 7. 不等式の表す領域	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
	B 単元 【知識及び技能】 ・角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解している。 ・三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解している。	・指導事項： 1. 一般項 2. 弧度法 3. 三角関数 4. 三角関数の性質 5. 三角関数のグラフ 6. 三角関数を含む方程式・不等式	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	8
	C 単元	・指導事項：	定期考査	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・導関数の定義を理解して計算することができる。 ・導関数と微分係数の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項： 1. 平均変化率と微分係数 2. 導関数 3. 接線の方程式 4. 関数の増減と極大・極小 5. 方程式・不等式への応用	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	10
	B単元 【知識及び技能】 ・不定積分および定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和および差の不定積分や定積分の値が求められる。 ・定積分と面積の関係を用いて、関数のグラフで囲まれた図形の面	・指導事項： 1. 不定積分 2. 定積分 3. 定積分と面積 ・教材： 教科書、ワーク	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学B

教 科： 数学 科 目： 数学B

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 ACDG 組

教科担当者：ACDG：小林

使用教科書：（新編 数学B（数研出版））

教科 数学

【知識及び技能】 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度や評価・改善しようとする態度を養う。

科目 数学B

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標								指導項目・内容		評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 確率分布と統計的な推測 【知識及び技能】 ・離散型確率変数の確率分布を求められる。確率変数の期待値、分散および標準偏差を求めることができる。 ・確率変数の期待値と分散・標準偏差や和の期待値や独立な確率変数の期待値と分散の和を求めることができる。								・指導事項： 1. 確率分布 2. 確率変数と確率分布 3. 確率変数の和と積 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など・指導事項		定期 考 査 小 テ ス ト ノ ー ト 提 出 グ ル ー プ ワ ー ク の 取 り 組 み 授 業 中 の 取 り 組 み	○			8
	定期 考 査								・指導事項： 1. 二項分布2. 正規分布		定期 考 査 小 テ ス ト ノ ー ト 提 出 グ ル ー プ ワ ー ク の 取 り 組 み 授 業 中 の 取 り 組 み	○			1
	E 二項分布と正規分布【知識及び技能】 ・二項分布や正規分布に従う確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 ・標準正規分布に従うときの確率を求めることができる。								・指導事項： 1. 二項分布 2. 正規分布 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など・指導事項			○			
	B 二項分布と正規分布 【知識及び技能】 ・二項分布や正規分布に従う確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 ・標準正規分布に従うときの確率を求めることができる。								・指導事項： 1. 二項分布 2. 正規分布 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など・指導事項		定期 考 査 小 テ ス ト ノ ー ト 提 出 グ ル ー プ ワ ー ク の 取 り 組 み 授 業 中 の 取 り 組 み	○	○	○	5
	定期 考 査											○			1
2 学 期	C 統計的な推測 【知識及び技能】 ・母集団と標本								・指導事項： 1. 母集団と標本		定期 考 査 小 テ ス ト				7
	D 数列とその和 【知識及び技能】 ・数列の一般項の意味を理解できる。 ・等差数列や等比数列の一般項や初項から第n項までの和の求め方を理解し、活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】								・指導事項： 1. 数列 2. 等差数列 3. 等差数列の和 4. 等比数列 5. 等比数列の和 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など		定期 考 査 小 テ ス ト ノ ー ト 提 出 グ ル ー プ ワ ー ク の 取 り 組 み 授 業 中 の 取 り 組 み		○	○	7
	定期 考 査										ス ト ノ ー ト 提 出 グ ル ー プ ワ ー ク の 取 り 組 み 授 業 中 の 取 り 組 み	○	○		1
	E いろいろな数列 【知識及び技能】 ・記号Σの意味を理解し、和の公式を理解している。 ・階差数列を利用して、数列の一般項を求めることができる。 ・数列の和と一般項の公式を用いて、和が与えられた数列の一般項を求めることができる。								・指導事項： 1. 数列の和とΣの記号 2. 階差数列 3. 数列の和と一般項 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など			○	○	○	7
	定期 考 査											○	○		1
	F漸化式と数学的帰納法 【知識及び技能】								・指導事項： 1. 漸化式		定期 考 査 小 テ ス ト	○	○	○	7
	G 経済と数学								・指導事項：		定期 考 査				7
3 学 期	定期 考 査											○	○		1
															合計 53

年間授業計画 新様式
高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅲ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅲ 単位数： 3 単位
 対象学年組： 第 3 学年 E 組～ G 組
 教科担当者： 駒井
 使用教科書： （ 新編数学Ⅲ（数研出版） ）
 教科 数学 の目標：

【知 識 及 び 技 能】事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を的確に表現する力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度や評価・改善しようとする態度を養う。

科目 数学Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	・分数関数と無理関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、既に学習した関数の性質と関連付けて多面的に考察するとともに、合成関数や逆関数の意味を理解し、それらを求めることができるようにする。 ・数列の極限について理解し、数列	1 章 関数と極限 1 節 関数 1 分数関数 2 無理関数 3 逆関数と合成関数 2 節 数列の極限 1 数列の極限 2 無限等比数列	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	33
	・微分可能性、関数の積及び商の導関数、合成関数の導関数について理解し、それらの導関数を求められるようにする。	2 章 微分法 1 節 微分法 1 微分係数と導関数 2 合成関数と逆関数の微分法	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	・導関数の定義に基づき、三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を考察して、理解し、それらを求められるようにする。	2 節 いろいろな関数の導関数 1 いろいろな関数の導関数 2 曲線の方程式と導関数 3 高次導関数	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	7
	・関数の局所的な変化や大域的な変化に着目し、事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりできるようにする。 ・微分法を用いて、事象を数学的に捉え、問題を解決することを通して	3 章 微分法の応用 1 節 接線、関数の増減 1 接線と法線 2 平均値の定理 3 関数の増加・減少と極大・極小 4 関数のグラフ 2 節 いろいろな微分法の応用 1 関数の最大・最小	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
2 学 期	・不定積分の基本的な性質について理解し、それらを用いて不定積分が求められるようにする。 ・置換積分法及び部分積分法について理解し、不定積分が求められるようにする。 ・定積分の基本的な性質について理解し、それらを用いて不定積分	4 章 積分法 1 節 不定積分 1 不定積分とその性質 2 置換積分法 3 部分積分法 4 いろいろな関数の不定積分 2 節 定積分 1 定積分とその性質	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	・立体の体積、曲線の長さなどを求める方法について考察するとともに、定積分を利用して、曲線で囲まれた図形の面積や立体の体積、曲線の長さなどを求められるようにする。	3 節 積分法の応用 1 面積 2 体積 3 曲線の長さとのり	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	11
3 学 期	1 年間の復習	総合演習	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	12 合計 108

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学C

教 科： 数学 科 目： 数学C

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 D 組～ G 組

教科担当者： 駒井

使用教科書：（ 新編 数学C（数研出版） ）

教科 数学 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度や評価・改善しようとする態度を養う。

科目 数学C の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
複素数平面 【知識及び技能】 ・複素数平面上に点を図示できる。 ・複素数の絶対値や和、差、実数倍の表示ができる ・極形式について理解し、複素数の積や商の計算ができる。 ・複素数の表す図形を理解でき	・指導事項： 1. 複素数平面 2. 複素数の極形式 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形 ・教材：教科書、問題集 ・一人1台端末の活用：画像の共有	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み				

1 学 期	る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ド・モアブルの定理を用いて複素数の累乗根を求めることができる。 ・条件を満たす複素数の描く図形を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、発言、提出物等	有、小テストの配布回収、動画配信など		○	○	○	4
	ベクトル 【知識及び技能】 ・ベクトルの演算について理解する。 ・ベクトルの成分について理解し、演算等ができる。 ・内積について理解し、値を求めることができる。 ・複素数の表す図形を理解できる。 ・空間の座標や平面について理解する。 ・球面について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・位置ベクトルを用いて図形の証明などができる。 ・条件を満たす複素数の描く図形を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、発言、提出物等	・指導事項： 1. 平面上のベクトル 2. ベクトルの応用 3. 空間ベクトル ・教材：教科書、問題集 ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み				2
	定期考査			○	○	○	1
	平面上の曲線 【知識及び技能】 ・放物線、楕円、双曲線について理解する。 ・極座標で表された点について理解し、直交座標に変換できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・直交座標の方程式と極方程式を相互に変換できる。 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、発言、提出物等	・指導事項： 1. 2次曲線 2. 媒介変数表示と極座標 ・教材：教科書、問題集 ・一人1台端末の活用： 画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	総合演習 【知識及び技能】 ・公式の確認 【思考力、判断力、表現力等】 ・入試問題等の演習。 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、発言、提出物等	・指導事項： 1. 総合演習 ・教材：教科書、問題集 ・一人1台端末の活用： 画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み				10
	定期考査			○	○	○	1
	総合演習 【知識及び技能】 ・公式の確認 【思考力、判断力、表現力等】 ・入試問題等の演習。 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、発言、提出物等	・指導事項： 1. 総合演習 ・教材：教科書、問題集 ・一人1台端末の活用： 画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み				8
	定期考査			○	○	○	1
3							

学 期							
						合計	36

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ・A演習

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅰ・A演習

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ G 組

教科担当者： 駒井

使用教科書：（ジュニア演習数学Ⅰ・A（数研出版））

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度や評価・改善しようとする態度を養う。

科目 数学Ⅰ・A演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	数と式/2次関数 【知識及び技能】 ・展開や因数分解の公式を用いて展開、因数分解ができる。 ・有理数について理解し、実数の範囲で計算ができる。 ・座標平面上で、 $y = ax^2$ のグラフを平行移動していく過程を作業を通して理解し、グラフをかくことができる。 ・定義域が限られた2次関数における最大値・最小値は、頂点を考慮して求めることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・置換などを使い複雑な式の展開や因数分解ができる。 ・関数 $y=ax^2+bx+c$ を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形することができる。 ・2次関数のグラフの頂点の座標と軸の方程式を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、発言、提出物等	・指導事項： 1. 式の計算 2. 実数 3. 1次不等式 4. 集合と論証 5. 2次関数のグラフ ・教材：教科書 ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	2次関数/図形と計量/データの分析 【知識及び技能】 ・2次関数のグラフと方程式の解について理解する。 ・2次関数のグラフと不等式の解について理解する。 ・三角比について理解する。 ・四分位数、箱ひげ図、分散、標準偏差等について理解する。 ・データの相関について理解し、相関係数を求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・抽象的な表現で与えられた関数のグラフを理解できる。 ・文字を含んだ関数や不等式を解くことができる。 ・2次関数のグラフの頂点の座標と軸の方程式を求めることができる。 ・正弦定理や余弦定理などを用いて問題を解くことができる。 ・箱ひげ図や散布図からデータの特徴を読み取ることができる。 ・標準偏差などの複雑な計算ができる 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、発言、提出物等	・指導事項： 1. 2次方程式と2次不等式 2. 三角比 3. 三角比と図形の計量 4. データの整理 5. データの分析 ・教材：教科書 ・一人1台端末の活用： 画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10

	定期考查			○	○	○	1
2 学 期	総合演習 【知識及び技能】 ・ 公式の確認 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 試問題等の演習。 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、発言、提出物等						10
							1
	総合演習 【知識及び技能】 ・ 公式の確認 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 試問題等の演習。 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、発言、提出物等						8
							1

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 理系数学

教 科： 数学 科 目： 理系数学

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 E 組～ G 組

教科担当者： 平林

使用教科書：（リンク 数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C（ベクトル））

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度や評価・改善しようとする態度を養う。

科目 理系数学

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	数学ⅡB 【知識及び技能】 ・ 基本事項や公式について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 問題に応じて解法を考察し、問題を解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 基本事項や公式について積極的に身に着けようとしている。 ・ 様々な問題について自分なりの解法で主体的に解こうとしている。	・ 指導事項： 1. 式と照明 2. 複素数と方程式 3. 図形と方程式 4. 三角関数 5. 指数関数と対数関数 6. 微分法と積分法 7. 数列 ・ 教材：教科書、ワーク ・ 一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考查 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○		○	11
	定期考查			○	○		1
	数学BCⅠA 【知識及び技能】 ・ 基本事項や公式について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 問題に応じて解法を考察し、問題を解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 基本事項や公式について積極的に身に着けようとしている。 ・ 様々な問題について自分なりの解法で主体的に解こうとしている。	・ 指導事項： 1. 統計的な推測 2. ベクトル 3. 数と式 4. 集合と命題 5. 2次関数 6. 図形と軽量 7. データの分析 8. 場合の数と確率 9. 図形の性質 ・ 教材：教科書、ワーク ・ 一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考查 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	11
	定期考查			○	○		1
	数学ⅠAⅡBCの総復習 【知識及び技能】	・ 指導事項： 1. 式と照明	定期考查 小テスト				

2 学 期	・基本事項や公式について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題に応じて解法を考察し、問題を解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・基本事項や公式について積極的に身に着けようとしている。 ・様々な問題について自分なりの解法で主体的に解こうとしている。	2. 複素数と方程式 3. 図形と方程式 4. 三角関数 5. 指数関数と対数関数 6. 微分法と積分法 7. 数列 8. 統計的な推測 9. ベクトル 10. 数と式 11. 集合と命題 12. 2次関数 13. 図形と軽量 14. データの分析 15. 場合の数と確率 16. 図形の性質	ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	11
	定期考査			○	○	1
	数学ⅠAⅡBCの総復習 【知識及び技能】 ・基本事項や公式について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題に応じて解法を考察し、問題を解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・基本事項や公式について積極的に身に着けようとしている。 ・様々な問題について自分なりの解法で主体的に解こうとしている。	・指導事項： 1. 式と照明 2. 複素数と方程式 3. 図形と方程式 4. 三角関数 5. 指数関数と対数関数 6. 微分法と積分法 7. 数列 8. 統計的な推測 9. ベクトル 10. 数と式 11. 集合と命題 12. 2次関数 13. 図形と軽量 14. データの分析 15. 場合の数と確率 16. 図形の性質	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	11
	定期考査			○	○	1

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学演習

教 科： 数学

科 目： 数学演習

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 E 組～ G 組

教科担当者： 駒井

使用教科書：（ 新編数学Ⅲ（数研出版） ）

教科 数学 の目標：

【知 識 及 び 技 能】事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度や評価・改善しようとする態度を養う。

科目 数学演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	・分数関数と無理関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、既に学習した関数の性質と関連付けて多面的に考察するとともに、合成関数や逆関数の意味を理解し、それらを求めることができるようにする。 ・数列の極限について理解し、数列	1 章 関数と極限 1 節 関数 1 分数関数 2 無理関数 3 逆関数と合成関数 2 節 数列の極限 1 数列の極限 2 無限等比数列	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	22
	・微分可能性、関数の積及び商の導関数、合成関数の導関数について理解し、それらの導関数を求められるようにする。	2 章 微分法 1 節 微分法 1 微分係数と導関数 2 合成関数と逆関数の微分法	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
	・導関数の定義に基づき、三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を考察して、理解し、それらを求められるようにする。	2 節 いろいろな関数の導関数 1 いろいろな関数の導関数 2 曲線の方程式と導関数 3 高次導関数	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	4
	・関数の局所的な変化や大域的な変化に着目し、事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりできるようにする。 ・微分法を用いて、事象を数学的に捉え、問題を解決することを通して	3 章 微分法の応用 1 節 接線、関数の増減 1 接線と法線 2 平均値の定理 3 関数の増加・減少と極大・極小 4 関数のグラフ 2 節 いろいろな微分法の応用 1 関数の最大・最小	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	・不定積分の基本的な性質について理解し、それらを用いて不定積分が求められるようにする。 ・置換積分法及び部分積分法につ	4 章 積分法 1 節 不定積分 1 不定積分とその性質 2 置換積分法	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み	○	○	○	12

2 学 期	いて理解し、不定積分が求められるようにする。 ・定積分の基本的な性質について理解し、それらを用いて不定積分	3 部分積分法 4 いろいろな関数の不定積分 2節 定積分 1 定積分とその性質	授業中の取り組み	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	・立体の体積、曲線の長さなどを求める方法について考察するとともに、定積分を利用して、曲線で囲まれた図形の面積や立体の体積、曲線の長さなどを求められるようにする。	3節 積分法の応用 1 面積 2 体積 3 曲線の長さと道のり	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	8
3 学 期	1年間の復習	総合演習	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	8
							合計
							73